

海外安全対策情報（令和7年（2025年）7から9月期）

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

（1）ビクトリア州

パレスチナ支持派、極右過激派、環境団体などによる抗議活動および破壊行為が各地で行われており、以下は主なその概要。

・7月4日夜、East Melbourne Hebrew Congregation synagogue にて、約20人が食事中、建物ドアに可燃物を撒き放火する事件が発生。警察当局は、NSW州の34歳男性を逮捕し、テロ事件として立件するか捜査中。また、この事件に関与した2人目の容疑者として20歳の男性を8月21日に逮捕している。

・7月4日夜、メルボルン市内 Hardware Lane のユダヤ人が経営するレストラン Miznon に、約20人の抗議者が入店、テーブルをひっくり返し「イスラエル軍に死を」と叫んだ。警察は、この事件に関わった3人を後日逮捕し起訴している。

・7月5日、メルボルン北東部 Greensborough の軍用部品関連会社にて、3台の車両が放火され、建物壁に落書きされた。後日ネット上に、グループの代表と称する匿名の人物がさらなる行動を起こすと脅迫するビデオが出回ったことを受け、テロ対策事件として捜査している。

・7月18日から22日にかけて、Port Melbourne、Campbellfield および Westmeadows の TOLL 事務所とグループ施設において、覆面をしたパレスチナ支持派グループにより落書き、赤いペンキを建物に吹きかけられる、ドア、窓ガラス損壊などの被害があった。加害者グループはこれら一連の行為を、SNS上に投稿している。

・7月27日、The National Gallery of Victoria が、約1,000人のパレスチナ支持派による抗議活動により一時封鎖され、一部の来館者は、抗議活動中に美術館内部に閉じ込められた。子連れの家族や高齢者を含む来館者は、群衆の中を通り抜ける際、警察の護衛を伴い退館した。抗議活動の参加者は、The National Gallery of Victoria が著名なユダヤ人慈善家からの寄付を受けているために標的とし、鍋やフライパンを叩きながら、イスラエル兵の死を求めるチャントや、ユダヤ国家の指導者をナチス政権と比較する看板が掲げられた。

・8月2日、警察当局は、約3,000人のパレスチナ支持者がメルボルン市内の King Street bridge を行進し、封鎖する目的の抗議活動を入口で制止した。また同日、シドニーで、推定10万人のデモ参加者がハーバーブリッジを行進して一時封鎖している。

・8月7日午後、約300人の大学生による『パレスチナのための全国学生ストライキ4』抗議活動が行われた。州立図書館に集まった学生抗議グループが、Swanston Street を南へ行進し、Flinders Street 駅構外に座り込んだ。この抗議活動で警察により5人が逮捕されている。また、グリーン党下院議員ガブリエル・デ・ヴィエトリは、ソーシャルメディアに投稿し、学生たちとともに参加できたことを『光栄に思う』と述べている。

・8月10日、約2,000人のパレスチナ支持グループによる抗議活動が警官隊と衝突、警察官に暴行を働いた男性に対して逮捕状が発行されている。また、49歳の抗議者が一般市民に唾を吐いたため逮捕された。

・8月10日深夜、メルボルン CBD バーク・ストリート・モールで、ネオナチの National Socialist Network の約100人が、黒い服とフェイスマスクを着用し行進した。グループと対峙した男性1名が、暴行を受け病院に運ばれている。この行進は、週末にビクトリア州地方都市で開催される同ネットワークの「全国会議」に先立って行われた。

・8月24日、メルボルン市中心部で、親パレスチナの活動家たちが交通を妨げ、イスラエルの空爆とガザの飢餓の高まりに抗議するため旗を振り、鍋を叩きながら集会を行った。この集会は、メルボルンで97週連続した週次の親パレスチナ集会であり、ビクトリア警察は約10,000人が抗議に参加したと推定している。同日、オーストラリア国内38か所で同様の抗議活動が行われた。

・8月31日、反移民を掲げた「March for Australia」に約6,000人が参加し、Flinders Street 駅から州議会議事堂まで行進した。この集会で、度重なる衝突が発生し、警察は6人を逮捕した。公共秩序対応部隊や騎馬隊を含め、警察は隊列を敷いて、数メートルしか離れていない距離で互いに罵り合う対立グループの分離に努めた。

・9月1日、Port Melbourne の貨物港で約60人の抗議者が、イスラエルとの貿易の終了を要求する抗議行動を行った。フェンス、バレル、コンクリートのボラード（車止め）に自ら手錠をかけ、移動することに応じなかった18人のパレスチナ支持者が逮捕されている。

・9月13日、メルボルン市内の Flinders Street 駅周辺および Spring Street（州議事堂）周辺で、4つの別々の抗議活動が行われ、数千人が参加し、市内のトラムが数時間停止した。ビクトリア州警察は、600人の警察官で対応、集会は主に平和的だったものの、一部小規模な衝突が発生した。警察は、器物損壊（落書き）で29歳の男性1人を逮捕した。

抗議活動はエスカレートすることもあり、デモを認知した際には、何らかのトラブルに巻き込まれる可能性も排除されないところ、速やかにその場を離れる等の注意が必要である。

一般犯罪とその関連において、

・7月、メルボルン西部の Maribyrnong 市議会で、暴力的な事件が相次いでいることにより、Footscray 中心部の警備のため2人の警備員を雇うことを決定した。Maribyrnong 市は、犯罪防止を自らの手に取り組む3番目の自治体となっている（先月、Wyndham City Council、Melbourne City Council が同様の措置を導入している。）

・8月、犯罪の動画をオンラインに投稿することを禁じた「post and boast」法案が成立した。これにより暴力的な犯罪、例えば暴行、車の盗難、住居侵入、強盗、ひったくりなどを、自身のコンテンツを公開する者に対して、最長2年間の懲役が科されることとなった。

・9月1日、大型刃物（Machet）の所持を禁止する法律が施行された。正当な免除または承認なしに大型刃物を所有、携帯、使用、購入、販売することは違法となり、最高2年の懲役または47,000ドル以上の罰金が科されることがある。9月1日に始まった大赦以降、一般市民から州内の45箇所の安全処分箱に自主返納された大型刃物は合計3,207本で、さらに別の大手小売店から3,400本が自主的に提出された。

・9月29日、15～17歳の4人が、盗難車でDoncasterのイースタン・フリーウェイから逃走、警察が追跡し、メルボルン市中心部のBourke Streetモールに乗り入れる事件が発生した。この事件で、女性1名が車と接触し、重傷で病院に搬送された。2017年のパーク通り車両暴走事件以降、モールには130本以上のボラード（車止め）が設置されていたものの、車両は進入阻止されていないトラムの線路を通してモール内に進入したと考えられている。

・9月に発表された犯罪統計局の本年6月末までのデータによると、過去12か月間にビクトリア州で報告された全犯罪件数のほぼ半数が未解決のままであることが示されている。未解決事件は296,000件となっており、警察の人員不足問題が悪化する中で前年より81,633件増加した。

犯罪統計	件数	前年同期比
暴行・傷害	53,854	+11%
強盗	3,828	+16%
住居侵入	49,876	+19%
窃盗	246,654	+28%

（2）南オーストラリア州

・7月、南オーストラリア警察協会の調査発表において、犯罪捜査に十分な時間があるかどうかの質問に、約半数の警察官が「NEVER(全く)」または「RARELY(滅多に)」ないと回答していることが分かった。南オーストラリア州警察の広報担当者は、州の急速な人口増加、警察サービスに対する需要の増加、そしていくつかの犯罪カテゴリーにおける犯罪の増加が、現在の警察官の生産性に影響を与えていると言及している。

・南オーストラリアにおけるナイフ犯罪が増加していることが、情報公開法に基づいて公開された警察データで示されている。過去4年間に州全体で、武装犯が関与する犯罪が一日当たり平均して13件発生している。統計は、医療機関、教育機関、サービスステーション、駐車場、そして司法関連施設でナイフ犯罪が増加しており、その内40%以上が住宅で発生している。

犯罪統計	件数	前年同期比
暴行・傷害（除くDV）	24,285	+3%
強盗	724	-11%

窃盗	50,499	-10%
----	--------	------

(3) タスマニア州

・8月24日、ホバートで約4,000人がパレスチナ支持の抗議活動に参加した。デボンポートでは、同様の抗議活動に約300人が参加している。

犯罪統計	件数	
暴行・傷害	6,573	-1%
侵入窃盗（住居）	1,205	-7%
侵入窃盗（店舗対象）	751	-3%

2 邦人被害

一般犯罪

- (1) HelloTalk 内で知り合った女性から、荷物を預かって欲しいと頼まれ、後日税関等を装う請求書に振り込む手口での詐欺被害や、Tinder 等のマッチングアプリで知り合った女性に性的画像を送った後、お金を脅迫される詐欺被害を複数件受けている。
- (2) リポート作成の仕事、データ入力の仕事などをフェイスブック等広告で見つけ、一定期間働いた後、機材購入等の理由でお金を振り込むように指示され数万ドル送金してしまう詐欺被害報告を複数件受けている。
- (3) 8月5日夕方、Sunshine West のバス停で、邦人女子留学生がパーカーのフードを被った男性に背後から抱き着かれた被害報告を受けている。

3. テロ・爆弾事件発生状況

昨年8月、Australian Security Intelligence Organisation（以下当局）は豪州のテロの脅威レベルを、「起こりうる（Probable）」へ段階を引き上げている。特定の差し迫った脅威があったからではないものの、中東での紛争が主な要因としている。反ユダヤ主義の機運が依然として高い中、1月に発生したユダヤ人を標的とした爆破未遂事件をはじめ、ユダヤ教の礼拝所（シナゴグ）やその周辺地域において、反ユダヤ主義を掲げる者の犯行と思われる器物損壊、放火未遂、放火、関連した爆発物の発見などの事案が相次いで発生しており、今後も継続的にテロに関連した最新の情報の入手に努める必要がある。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

特段注意を要する事件・情報は認知していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

一般的に対日感情は良好とされているものの、7月18日から22日にかけて、Port

Melbourne の TOLL 本社事務所、および Campbellfield と Westmeadows グループ施設に対して、覆面をしたパレスチナ支持派グループによる落書き、窓ガラスを割る破壊行為があった。この匿名過激派グループは、イスラエル軍を支援していると主張する企業に対する犯罪的損害キャンペーンを拡大するためにメンバーを公然と募集しており、ビクトリア警察、および連邦警察は捜査中だが、8 月 17 日の時点で本件容疑者の逮捕等に至っていない。

また、令和 6 年 10 月 26 日、および本年 6 月 27 日に、我が国に対する抗議デモ（ALPS 処理水の海洋放出）が行われている。今後も我が国の政策や社会情勢に応じて抗議活動が活発化する可能性も否定できないことから、これらの動向には引き続き注意が必要である。

※統計は、VIC 州犯罪統計局（統計期間：2024 年 7 月から 2025 年 6 月まで）、SA 州警察の公表に基づく（統計期間：2024 年 7 月から 2025 年 6 月まで）、TAS 州（統計期間：2024 年 8 月から 2025 年 7 月まで）。